

平成28年度第1回成田市生涯学習推進協議会会議概要

1 開催日時 平成28年9月16日（金） 午後2時から3時30分まで

2 開催場所 成田市役所 3階 第二応接室

3 出席者

（出席委員）井田正道会長、門馬紘一副会長、小川和博委員、大見川美津子委員
梶尾百合子委員、橘内忠成委員、桑村雄一委員、軸屋美恵子委員
品田等委員、菅沢くみ子委員、高田英子委員、高安輝司委員
照元康委員、時田幸江委員、中村好男委員、野平浩明委員
宮本真由美委員、

※欠席委員 加瀬裕美子委員、正岡宗之委員、渡辺まり子委員

（事務局）関川教育長、秋山生涯学習部長、田中生涯学習課長、大矢生涯スポーツ課長、
神崎公民館長、池田図書館長、木川生涯学習課副参事、川崎生涯学習課副参事、
長谷生涯スポーツ課主幹、出山生涯スポーツ課主幹、添田生涯学習課係長、
若山生涯学習課係長、平野公民館係長、麻生生涯学習課副主幹

4 議事

- （1）第2次成田市生涯学習推進計画の進捗状況について
- （2）第2次成田市生涯スポーツマスタープランの進捗状況について

5 会議の内容

- （1）第2次成田市生涯学習推進計画の進捗状況について
生涯学習課長、公民館長及び図書館長から、それぞれ資料に基づき平成27年度
主要事業の実績等について説明。
- （2）第2次成田市生涯スポーツマスタープランの進捗状況について
生涯スポーツ課長から、資料に基づき平成27年度主要事業の実績等について説
明。

《発言要旨》

議事（1）についての発言

委員：来年度に大栄公民館の改修工事を予定していると思うが、プラザホールにあるグラ
ンドピアノは使用できるのか。

事務局：大栄公民館のプラザホールの改修工事については、早ければ来年6月から着工す
る予定であり、工期は年度いっぱいの見通しである。その間プラザホールは貸出
しできないため、ピアノのみの貸出しは難しい。

委員：数値目標4「ボランティア等の登録者数」について。市民が学んだことを活かせる場が必要。例えばユネスコでは、子供達が熱心にボランティア活動をしている。このような運動を大人にも広げていければ。

事務局：例えば生涯大学院では、子ども陶芸教室をはじめ、学んだことを地域に還元できる取組を行っている。今後はもっと広げていきたい。

委員：28ページの「公民館ボランティア」は具体的には何をしている人たちなのか。

事務局：「外国人のための日本語教室」の講師が多数である（延べ1,000人程度）。

議事(2)についての発言

委員：中台体育館アリーナの空調工事はいつになるか。

事務局：今年度中に実施設計を行い、工事は来年度行う予定である。

委員：中台陸上競技場の観客席について。端の部分には屋根がかかっておらず、子供達が大会で使用する際など、熱中症が心配である。今後の対応は。

事務局：老朽化に対する修繕は検討しているが、屋根の範囲を広げることは考えていない。

委員：事務局から総合型地域スポーツクラブの説明があったが、中台運動公園は複数の団体が使用することが多く、駐車場が常に混雑している。今後、スポーツクラブが本格的に始動すると、駐車スペースが足りなくなるのでは。

事務局：総合型地域スポーツクラブは、本来地域が主体となるので、徒歩や公共交通機関を利用する事が前提である。現在の混雑については、利用団体と調整しているが、今後も指定管理者である成田市スポーツ・みどり振興財団を通じて、各団体に対し行事の日程を調整するよう協力依頼をしていく。

委員：総合型地域スポーツクラブは2年にわたって準備をしてきた。来年2月には設立総会を予定している。現在プレ事業を行っているが、参加者の9割が60歳以上の女性である。平日の日中に行っている教室が多いため、仕事や学校がある方は参加しにくいのかなと思う。

委員：全ての人がスポーツを楽しめる環境が大事。その点で総合型地域スポーツクラブはとても有意義であると思う。私は特に、子どもたちが気軽に運動できることが必要であると思うが、それについては、どのように考えているのか。

委員：子供達も参加できるよう、夕方の教室も開設しており、参加者は増加している。

委員：学校跡地の、今後の活用方法や現在の利用者数は。

事務局：学校跡地の今後の活用方法については、企画政策課を中心に検討中である。具体的な活用方法が決まるまでは、生涯スポーツ課で運動施設として開放している。昨年度の実績では、中郷運動施設が約7,500人、十倉三運動施設が約2,700人、滑河運動施設が約3,400人、高岡運動施設が約2,300人（いずれも延べ人数）となっている。利用者の大半は地元地域の方々である。

委員：先ほど総合型地域スポーツクラブの参加者の9割が60歳以上の女性であるという話であったが、60歳以上の男性の割合は。

委員：全体の1割程度である。現在、プレ事業で行っている種目はレクリエーション的なものが中心であり、この世代の男性が興味を持つプログラムは少し異なるのではないかと思う。また、先ほども言ったように、ほとんどの教室を平日の日中に行っているため、定年退職後も仕事をしている方にとっては、参加しづらいのかなと思う。

委員：先ほどの学校跡地利用について。4年前に企画政策課がアンケート調査を実施したと記憶しているが、結果は、どのように反映されているのか。私は校舎を宿泊施設とし、各スポーツ団体が合宿所として利用できないかと提案したが、現状では校庭の利用にとどまっている。校舎は利用しないのか。

事務局：庁内で学校跡地利用検討委員会を開催し、検討している。委員ご指摘の宿泊施設については、県内では縮小傾向にあり、予算の都合もあるため、難しいと思われる。確かに利用方法の決定に時間が掛かっており、申し訳ないと思うが、今しばらくお待ちいただきたい。

6 傍聴

1名